

	<h2>研修タイトル</h2>
	<p>一生後悔しないビジネスキャリアの作り方 ～古典に学ぶ、キャリア戦略構築のコツ～</p>
	<p>講師： 飯田 吉宏（いいだ よしひろ） プレアデス・コンサルティング株式会社 代表取締役 易経講師・社会保険労務士</p>

■ 想定対象者

- ★大学生・専門学校生 ★大学・専門学校の就職指導担当者
★新入社員・入社2～5年目社員 ★20～30代の事業承継予定者

■ 研修の概要と効果

変化の激しい時代。大量の情報に振り回され、結局、何を拠り所に自らのキャリアを考えればよいか、悩む若者を多く目にします。古典の知恵には、こうした100%の正解がない問題を解決する優れた効果があります。中国古典（易経）を学べば、どのようにキャリアを捉えれば自分も社会も活きるのか、そのメカニズムを知ることができます。いたずらに変化を恐れず、状況にピッタリの対処法を発見し、主体性をもってキャリアを歩んでいく。その道標となるキャリア戦略を身につける機会を提供します。

※受講にあたり中国古典の事前知識（文法や人物・歴史など）は不要です。

※易占い、風水、吉凶判断、九星気学などのコンテンツは含みません。

■ 研修内容

所要時間…180分～1日

（基本プログラム）

1. 古典に学ぶキャリアの捉え方

- ・キャリアとは何か
- ・「何のために働くのか？」という問いについて
- ・「自分探し」で袋小路に入らない方法
- ・激動の時代だからこそ古典の知恵を借りる
- ・セルフカウンセリングを可能にする陰陽の発想

2. 龍の成長物語に学ぶキャリア戦略作り

- ・龍が教える「変化」の原理原則
- ・「時」の傾向と対策から、その「時」に最適な行動を発見する
- ・潜龍（目標設定期）～見龍（モデリング期）までのポイント
- ・乾惕（スキル開発期）～飛龍（成果創出期）までのポイント
- ・龍が雲と共に描かれる本当の理由とは
- ・あなたは社会に恵みの雨を降らせられるか？

(受講者の声)

自分が現在どの地点にいるのか、またそこから自分は何を果たすべきかを確認するツールとして易経の知識を用いていきたい。参加前はスピリチュアルなイメージが主であり、キリスト教や仏教などに関連した内容についての講座だと思っていたが、実際に易経とビジネスのお話を聞き、自分の将来像をより具体的に考えていくことができるものとして活用できると感じる知識を学ぶことができたと思います。

(本土優樹さん・大学生 (明治学院大学))

色々な「とき」があること。仕事というひとくくりの「とき」もあれば、「プロジェクト」単位、「後輩に接するという行動」単位で「とき」があったんだと、とても客観的にみることができました。

(加藤真夕子さん・有限会社 人事労務 (社労士事務所) 勤務)

生きづらさを軽減できる実践的な古典という感じですが。易経の64の物語には世の神羅万象、そしてその結末が描かれています。全てのことは留まることなく同じ日は二度と無い。たとえば春夏秋冬でいらない季節はないわけで、ただその時に合った過ごし方をしなければならぬということ。わかっているようでわかっていないことを改めて意識する機会にもなります。こういうことは本当に若いうちにこそ知るべきことなんだという気がします。ぜひ学校の授業に取り入れてもらいたいです。

(青木絵美さん・レンタルスペース 自由が丘サクラボロー 代表)